

おばあちゃんにあげる「おにぎり」
かすい小がっこう 一ねん のもとななこ
「はいおばあちゃん。おにぎりできたよ。」
わたしは、おぶつたんのおばあちゃんにおに
ぎりをおそなえます。おにぎりは、ちいさ
なおちゃんにはいるぐらいのおにぎりです。
まるでぼーるみたいなのでもおいしいお
にぎりです。おばあちゃんがかうれしそうに
ているのでわたしもにっこりになります。そ
れに、わたしのよこでおじいちゃんがいちは

んよろこんでいます。おじいちゃんはいな
なちゃん、おにぎりつうつてくれてありがと
う。おばあちゃんもよろこんでいるよ。」とい
います。だから、わたしは、ときどきはやお
まをしておにぎりをつくらせています。

おばあちゃんはやさしくて、りゆうりがい
まうででした。わたしは、おばあちゃんがつ
くらったおにぎりがおいしくてたいすきでした。
でも、おばあちゃんは今いないので、こん
どはわたしがおばあちゃんにおにぎりをつくら

っています。じまんのおにぎりです。

ことしのはるはおとうさんがわたしにたう
えをさせてくれました。きかいがうえてでき
なかつたとさろをうえます。三ほんずつたく
さんうえました。おじいちゃんかボーリング
のみずをだしたり、とめたりすることもおて
つだいしました。おじいちゃんやみんながら
「ななちゃんにはほんとうになんでもできるね」
とほめられて、とてもうれしかったです。

なつがおわるころには、ヘリコプターでく
すりをまくのもみました。りもこんでおじさ
んがとばしていました。じょうずだなあとお
もつてみていました。

あきには、まわりもたんぼもみんなきいち
にいろづいてきました。もうすぐあたらしい
おこめができます。こんどはおおあさんとい
つちよにあたらしいおこめでおばあちゃんに
おいしいおにぎりをつくらせてあげます。

「おばあちゃん、ななこがつくるおにぎりま
つててね。おいしいよ」。ななこより。